

保育所等訪問支援事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 年 月 日

事業所名: 発達支援ルーム
ティンカーベル

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価			訪問先施設の方の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標
		2023年度 達成率 %	2022年度 達成率 %	2021年度 達成率 %	2023年度 達成率 %	2022年度 達成率 %	2021年度 達成率 %	2023年度 達成率 %	2022年度 達成率 %	2021年度 達成率 %	
環境・体制整備	1 適切な教具教材の使用	3			3		2				訪問先と相談しながら必要に応じて準備することもある。
	2 職員の適切な配置	3			4		1				継続
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	2	1								継続
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	2		1							今後検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	3									研修を受ける機会を多くもらった。今後も支援に中心になる研修は積極的に受けるように考えている。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での保育所等訪問支援計画の作成	3			4						保育園や幼稚園の場合は保護者も見えない部分があるため、状況や様子を丁寧に伝えて、希望を聞き取り、支援計画に反映させたい。
	2 保育所等訪問支援計画における子どもの支援に関わる職員の認識の統一	3									複数で訪問することはほぼないため、事業所内より訪問先の先生の確認や共有を積極的にやっていく。
	3 保育所等訪問支援計画における、訪問先施設や担任等の意向の取入の実施	3									継続
	4 保育所等訪問支援計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	3			5						継続
	5 保育所等訪問支援計画に沿った適切な支援の実施	3			5						訪問先と連携をとり、丁寧に実施していく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	3									
	7 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	2	1								1人で訪問することが多いが、複数で訪問する場合は各々の立ち位置を事前に話し、具体的な支援に結び付けていく。
	8 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	3									複数で訪問の時は、振り返りと今後について話し、次の訪問に活かすようにしている。
	9 訪問先の理念、支援手法の尊重	3						5			個別課題の中で取り組みフィードバックしていただいている。集団の中での個別のかかり方の提案がわかり、保育者間の連携も取りやすくなった。子どもの切り替えの難しさが少し軽減された。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	3									報告書として保護者には確認してもらっている。今後もわかりやすい言葉で状況が頭に浮かぶような記録にしたい。
	11 定期的なモニタリングの実施及び保育所等訪問支援計画の見直し	3									継続
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	3									継続
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施										今年度は医療的ケアの子どもさんはいない
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備										今年度は医療的ケアの子どもさんはいない
	4 保育所等訪問支援からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	2	1								保護者の希望により、必要な場合は引継ぎなど行う予定である。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	1	2								同上
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進			3							専門機関との連携、研修の参加の機会を増やしたい。
	7 障がいのない子どもと活動する機会の提供										幼稚園、保育園での支援が多いため、集団の中での育ちを支えている。必要に応じて個別なども行っている。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			3							事業所発信の行事は行ってない。今後検討したい。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				訪問先施設の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		悪い	どちらともいえない	いい	工夫した点、改善点	悪い	どちらともいえない	いい	わからない	保護者の方のご意見	悪い	どちらともいえない	いい		わからない	訪問先施設の方のご意見	
関係機関との連携（続き）	9 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	2	1			5				不安なことがあれば、すぐに相談に乗ってもらえるので、問題や課題を共有できている。						今後も積極的に情報を共有できるようにしていく。	
	10 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	1	2			5										今後、年に数回開催日を検討し案内ができるようにしたい。	
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	3				5										契約前の相談の際に、説明している。	
	2 保育所等訪問支援計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	3				5										今後も丁寧にわかりやすく伝えていきたい。	
	3 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	3					5			毎回課題を示してもらい、丁寧な説明や記録があり、とても満足している。訪問時の内容を詳しく教えてもらい、アドバイスをもらっているので満足している。						保護者の心配な部分の様子も見て合わせて課題や目標、家庭での課題を提案している。	
	4 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援																保護者会はない。
	5 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	3					3		2								苦情があった場合は迅速かつ適切に対応を心掛ける。
	6 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	1	2				3		2								会報の発信はしていない。
	7 個人情報の取扱いに対する十分な対応	3					5										継続
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	3					5										保護者の勉強会など検討していく。
訪問先施設への説明等	1 訪問先施設からの悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	3			その場で解決しないこともあるが、声かけや集団の中でのかわり方など、その都度伝えるようにしている。具体的なあそびの紹介や本、研修などの紹介もしている。									担当教諭とその都度アドバイスをしていただき、参考にし保育に役立っている。子どもの姿を見ていただきたい時間帯に合わせてくれる。今後も色々助言をしてもらいたい。保育の中の場面に照らし合わせて丁寧に指導してもらい、実践している。イラストや表示の支援など、園でも取り入れやすい物を教えてもらった。わかりやすく、保育に取り入れやすい物もあった。保育に取り入れたい知識や技術を学ぶことができ良かった。困り感や疑問を解決することが出来た。			その場で解決できることだけではなく相談も多いため、担任の先生だけが抱えてしまわない配慮が必要だと感じている。継続したかわりの中で一緒に育てていく気持ちを持って訪問する。『療育』の場も見学してもらうことで支援の意味やこらが話している意図を理解してもらえることがあり、今後も柔軟に対応していきたい。
	2 支援終了後における訪問先施設との情報の共有化	3			終了後に話ができる場合と、できない場合があり、柔軟に対応している。担任の困り感など、ヒントになるものがあれば資料や遊びや教材の紹介をしている。									課題を一緒に考えていき、解消している。月2回なので、なかなか難しい。担任の不安感を拭いてもいい、一つ一つ穏やかに丁寧に回答してもらっている。質問に対して資料を準備して答えてもらった。園では把握しきれない家庭の状況や保護者のかかわりを知ることができ、こどもの様子と照らし合わせることが出来たので良かった。			訪問先の状況もあるため、支援したその日に話し合いができないことも多い。柔軟に対応できるようにしていく。
	3 支援実施後における家族との情報の共有化	3				報告は丁寧にしている。											今後も丁寧にいく。
	4 個人情報の取扱いに対する十分な対応	3															継続
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	1	2			4		1								事業所のものはあるが、訪問先のマニュアルは確認していない。確認する。	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	2	1			5										訪問の日が避難訓練の実施がある場合、一緒に参加。	
	3 服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施															該当するケースがない。今後、ケースがある場合は訪問先と情報を共有していく。	
	4 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	2	1													訪問先で起こりえる事故を想定し、職員と共有し確認していく。	
	5 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	3														年度初めに確認し、随時研修に参加したり研修を行ったりする。継続	
	6 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での保育所等訪問支援計画への記載	2	1													支援計画の記載を行うようにする。	